

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1040070	001
----	---------	-----

## 【1.基本情報】

事業名	食品衛生協会指導育成事務補助					
担当部名	保健衛生部		担当課名	食品衛生課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜市食品衛生協会	
開始・終了年度	昭和	35	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金交付規則、 岐阜市健康医療関係団体補助金交付要綱

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	食品衛生事業の円滑な推進及び組織体制の維持・拡充					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員業務指導(月例指導員会への参加)</li> <li>・協会推進業務指導(水質検査、責任者養成講習会、責任者実務講習会、検便、食協だより発刊への協力、優良施設表彰審査)</li> <li>・協会運営事務指導(総会、理事会、指導員部会)</li> </ul>					
事業の対象	何を	補助金				
	誰に	岐阜市食品衛生協会				
	どのくらい	270千円				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33	1	32	1	32	1

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		270	270	270
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	補助金	270	270	270
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		270	270	270

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	303	302	302

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	303	302	302

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	食品等関連事業者	食品等関連事業者	食品等関連事業者
受益者数	4,507	4,596	3,843
受益者負担額(千円)	1	1	1
受益者負担率(%)	0.3%	0.3%	0.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	67	66	79

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	食品衛生責任者講習会開催回数			単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	25	25	25		25
実績値	26	24	20		20

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	食品衛生責任者講習会受講率			単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	100	100	100		100
実績値	82	83	76		76
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)		

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	食品関連営業施設の食品衛生向上に有効で、市民の食の安心・安全につながる。 公共性の高い事業内容であるが、会員数の減により自主運営が厳しく、組織体制を維持するために補助が必要である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	食品関連営業施設の組織で構成される協会に関与することが効率的である。 公共性の高い事業内容であり他に担い手がない。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	講習会受講率は高い水準を維持しており、食品衛生法改正の内容や制度化されたHACCPに沿った衛生管理の普及促進につながる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受益者に適正な負担を課している。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	食品衛生法の趣旨に沿って行政に協力し、食品営業関係者及び消費者に対し広く食品衛生思想の普及啓発を行っており、補助対象として適当である。 食品関連事業者の協会加入率が低下傾向にあり、運営は極めて苦しいが、講習会受講料や水質検査料の値上げなどの見直しを行っている。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1040070 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	食品安全次世代育成事業					
担当部名	保健衛生部		担当課名		食品衛生課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	10	年度～	年度	根拠法令・関連計画	食品衛生法、食品安全基本法、岐阜県食品安全基本条例

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	次世代を担う小・中学校生を対象とし、食についての関心や衛生意識を高める					
内容 (手段・手法など)	・食中毒予防啓発パンフレットを市内小学生5年生向けに作成し配布。各小学校の授業に役立て、アンケート調査により使用状況を把握している。					
事業の 対象	何を	食品衛生に関する正しい情報				
	誰に	市内小・中学校の生徒、教員、給食主任等約3,800人				
	どのくらい	・食中毒予防啓発パンフレットの配布、約3,800部				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33	1	32	1	32	1

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	149	148	138
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		149	148	138

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	182	180	170

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	182	180	170

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	小・中学生	小・中学生	小・中学生
受益者数	4,100	4,000	3,900
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	44	45	44

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	食中毒パンフレットの配布部数		単位	部数
	令和2年度	令和3年度		令和4年度
目標値	4,500	4,300		4,300
実績値	4,138	3,956		3,889

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	衛生意識が向上したと回答した人の割合		単位	%
	令和2年度	令和3年度		令和4年度
目標値	90	90		90
実績値	-	91		95
達成状況	—	○(達成)		○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	養育期における食に対する衛生知識の確保は、学校など大規模食中毒の発生防止につながる。 食品衛生監視員による専門的知識の普及が必要である。 類似の事業は他に無く、他事業との統廃合は困難である。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	パンフレットの配布により、食品への衛生意識が向上し、その結果学校等での大規模食中毒が発生していない。 パンフレットは、当課が独自に作成し、絵や図柄を利用し、児童には分かりやすく解説しており、理解を深めるのに最も有効な方法である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか ※【2】【7】から	高	衛生意識が向上したと回答した人の割合が、高い指標(目標値)の90%を超えており、十分期待した効果が得られた。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	市内の全小学校5年生にパンフレットを配布しており、公平性を担保している。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	令和5年度は、パンフレットに掲載のQRコードやホームページから電子媒体で食中毒啓発の内容が見れるよう工夫しており、幅広く知りたい情報を知りたい時に得られるように更新した。今後は、養育期のさらに幅広い年齢層で食品衛生への興味を持てるよう高学年用と低学年用の内容を作成する予定である。また、低学年も対象とすることから、インターネットなどを活用し、親子で学べる機会を増やし、学校などで発生する大規模な食中毒から一般家庭で発生する食中毒の予防につなげることを目的とし、拡充の方向で検討している。また、本事業は、食品業者以外の分野で食品衛生知識を普及するものとして非常に重要である。